

自己評価報告書

平成23年4月1日現在

機関番号： 13401

研究種目： 若手研究 (B)

研究期間： 2008~2011

課題番号： 20720023

研究課題名 (和文) 近代フランスにおける陶磁研究とシャンフルーリ

研究課題名 (英文) Ceramic Research in the 19th Century in France and Champfleury

研究代表者

今井 祐子 (IMAI YUKO)

福井大学・教育地域科学部・准教授

研究者番号： 00377467

研究分野： 人文学

科研費の分科・細目： 哲学・美学・美術史

キーワード： 美術史、陶磁史、フランス文化史、ジャポニスム、日仏文化交流史

1. 研究計画の概要

4年間の研究期間を設定する本研究では、以下に列挙した3つの項目を解明することを目的として、一次資料の調査を進める。

- (1) フランス革命の陶器に関するシャンフルーリの収集、および研究の内容とその意義
- (2) セーヴル時代のシャンフルーリの収集および研究活動の内容とその意義
- (3) シャンフルーリと世界各国の陶磁収集家・研究者との間で築かれていた情報ネットワークの実態

2. 研究の進捗状況

(1) パリ装飾美術館図書館所蔵のシャンフルーリ関連資料 (書簡、新聞・雑誌記事の切り抜き、収集品目録) を調査し、その大方の解読を終了した (極めて難解な部分を除く)。これにより、1850、1860年代にシャンフルーリによって形成されたフランス革命の陶器のコレクション、およびそれに基づく研究が当時において高く評価されていた事実を確認した。

(2) セーヴル国立製造所資料館に所蔵されているシャンフルーリ関連資料 (書簡、公文書)、セーヴル国立陶磁博物館の所蔵品目録、その他関連文書を調査し、その大方の解読を終了した (極めて難解な部分を除く)。これにより、1870年代のシャンフルーリが、セーヴル製造所とセーヴル陶磁博物館の運営に尽力するのみならず、陶磁研究の進展に寄与すべく陶磁器関連文献の収集 (これは後に、『陶磁器文献目録』(1881) に結実する) に励むなどして、広く国内外の陶磁器に目を向けて研究に従事していた事実を確認した。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。
(理由) 当初予定していたよりも多くの貴重な一次資料にあたることができたことにより、シャンフルーリの活動の多様性、およびその交友範囲が想定以上のものであった事実を把握することができた。この点に関する研究成果は、今後国内外の学術雑誌へ論文の形で発表する予定である。

4. 今後の研究の推進方策

これまでは、研究計画の概要で記した(1)と(2)の項目について主に調査した。今後は、(3)の項目について主に調査を進め、陶磁研究を巡るシャンフルーリの国際的な活躍について理解を深めていく方針を立てている。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

① 今井祐子 「陶磁史家シャンフルーリの誕生」『表現文化研究』、第10巻第2号、109-126頁、平成23年(2011年)、査読無
(<http://www2.kobe-u.ac.jp/~shuichin/scbdmmt/jp/index-j.html>)

② Yuko IMAI, « Champfleury et la céramique japonaise », *Cahiers Edmond et Jules de Goncourt*, n° 18, Paris, Société des amis des frères Goncourt, 2011. (2011年11月発行予定)

[学会発表] (計0件)

〔図書〕（計 0 件）

〔産業財産権〕

○出願状況（計 0 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

○取得状況（計 0 件）

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕